

報道関係各位

武蔵野美術大学と大日本印刷株式会社が 「日本の“あんしん”のビジョン」に関する共同研究をスタート

武蔵野美術大学（所在地：東京都小平市、学長：長澤忠徳）が立ち上げたソーシャルクリエイティブ研究所と大日本印刷株式会社（所在地：東京都新宿区、代表取締役社長：北島義斉）が、日本の生活者が求める「あんしん」のビジョンを提案するための共同研究をスタートさせました。

■ プロジェクト概要

ソーシャルクリエイティブ研究所と大日本印刷株式会社は、2019年12月に、新たな価値の創造に関する共同研究契約を締結しました。この度、本研究内で実施するプロジェクトとして、「日本の“あんしん”のビジョンに関する研究」をスタートさせました。

社会変化のスピードにより、生活者が求める「あんしん」の価値観も多様化していますが、便利で快適な暮らしを実現し、社会を良くしていくためには、「あんしん」に対するより高度で正確な情報把握が必要とされてきます。

本プロジェクトは、研究所の研究者である造形構想学部クリエイティブイノベーション学科の山崎和彦教授が担当を務め、これからの「あんしん」がどのようなようになっていくかを明らかにするため、社会と生活者、生活者同士のコミュニケーションなどを、デザイン的な視点を活用し、ビジョンを作成していきます。

■ 武蔵野美術大学造形構想学部クリエイティブイノベーション学科

山崎和彦教授のコメント

本学のソーシャルクリエイティブ研究所では「社会に対してビジョンとプロトタイプを研究提案する」という構想のもと、日本のデザイン、みんなのデザイン教育、暮らし方・働き方のデザイン、以上の3つをテーマにして、創造的思考力を活かし社会的価値の向上、創出を目指しています。その中でも「暮らし方・働き方のデザイン」では社会の変化やITによって変革していく暮らし方・働き方のビジョンを題材にしています。



近年では、新型コロナウイルスを代表に、災害、健康、環境、犯罪、経済、老後、人間関係、など多様な不安な要素があります。本プロジェクトでは社会を良くしていくために「あんしん」という視点で、ビジョンの研究を推進します。具体的には創造的思考とプロトタイピングと市民との共創により研究を推進し、その成果を社会に役立てます。



■ 研究所概要

名称：武蔵野美術大学ソーシャルクリエイティブ研究所

（英語名称：Musashino Art University Research Center of Social Creative）

所在地：武蔵野美術大学市ヶ谷キャンパス（東京都新宿区市谷田町 1-4）

激しい環境の変化や未来が予測しづらい現代が抱える課題を、研究所が企業、地域、行政、教育の壁を超え、領域横断的に取り組み、ビジョンとプロトタイプを研究提案することで、社会問題の解決や新たな人類価値を創出するため、2019年7月に設立しました。

<本件に関するお問い合わせ先>

武蔵野美術大学 大学企画グループ研究支援チーム 担当：板橋

phone: 042-342-7945 fax: 042-342-6087 e-mail: social@musabi.ac.jp